

# 入野小学校 校長室だより

2015. 6. 18(木) No. 11 文責：芝

## 心が動いた言葉

会に参加するため、職員玄関を出たところで出合った男の子、

「校長先生、どこに行くが？」

「佐賀に行くがよ。また帰ってくるけどね。」

と答えると、

「ふうん、行ってらっしゃい。」

と言って駆けていきました。何気ない会話ですが、「行ってらっしゃい」って、いい言葉だなあと思いながら車に乗ったことです。その時に、私が駆け出しのころ、先輩の先生が子どもたちに「挨拶には心を開くという意味がある」と話していたことを思い出しました。「挨拶」の元々の意味がそういうことなのか、「挨拶」にそういう働きがあるということなのかは分からなかったのですが、確かに「行ってらっしゃい」の一言に心が動くものだなあ、と改めて感じた出来事でした。

下の写真は、

「廊下がビチョビチョやけん、拭いて！」

の声に反応してくれた子どもたち。この日は習字の学年があったり、図工で絵をかいた学年があったりで手洗い場付近の廊下がかなり濡れていました。そこで先ほどのようにお願いすると、さっと反応してくれたのが爽やかでした。こんな時には「ぼくらあだけが濡らしたがやないに」のような言葉も出がちです



が、そんなこととは無縁と言っていい雰囲気  
が嬉しく思いました。

写真を撮っていると、少し離れた場所から、  
「校長室だよりが出るがやない？」

のつぶやきが聞こえましたが、それにも、ち  
よっと心が動いたことでした。(さて、私は、  
どのように心が動いたのでしょう?)

1学期も残すところ1ヶ月、こんな子ども  
たちの素敵な姿をたくさん見つけられたらと  
願っているところです。

## 給食当番デビューの日

転校生があり、29人に増えた1年生の話  
題から。

15日(月)、私が給食の検食をしていると、  
「今日は、1年生が給食当番デビューの日で  
すよ〜。」

という声が職員室に響きました。小学校に勤  
務していて嬉しいことのひとつに「その子に  
とって人生初という場面に立ち会える」とい  
うことがあります。今回も「これは写真に！」  
と慌ててカメラをつかみ、口の中のものを牛  
乳と一緒に飲み込んでランチルームに急いだ  
のですが、残念…、下の写真のように配膳な  
どの仕事は終わり、給食着をたたんでいる場  
面との出会いになってしまいました。

1年生が登校したのは入学式を含めて50  
日くらい。数に表すと「たったそれだけ？」  
という感じです。ですが、この50日間の変  
化はすごいですよね。

今年度の登校予定日数は約200日。これ  
からの変化が楽しみです。

